

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察運営費	1,176,935 (1,142,499)  国 909  使 180,769  財 7,191  諸 45,522  起 34,600  ⊖ 907,944	<p>感 1 新型コロナウイルス感染症対策経費 4,050</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として留置場内、来庁者に対する衛生消耗品を整備する。</p> <p>2 犯罪被害者等への支援強化事業 2,165</p> <p>身体犯罪被害者にかかる初診料、性感染症等検査費用、再診料、診断書経費等を公費負担するとともにカウンセリング等を行うほか、犯罪被害者に対する直接支援業務を行い、被害者やその家族等への支援を強化する。</p>
装備費	481,187 (502,748)  国 152,086  ⊖ 329,101	<p>1 警ら用自動車等の更新整備 39,500</p> <p>警察活動の基盤となる警察車両の計画的な更新整備を図るため、警ら用自動車（白黒パトカー）等の更新整備を行う。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察施設費	521,615 (1,951,814)  財 48,321  繰 2,270  起 395,600  ⊖ 75,424	<p>長 1 交番・駐在所の新築整備 104,400</p> <p>地域防災の拠点となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しい2施設を新築整備する。</p>
自動車運転免許費	849,775 (705,917)  使 634,812  ⊖ 214,963	<p>新 1 認知機能検査タブレット化事業 3,663</p> <p>高齢者の運転免許更新時に実施する認知機能検査用のタブレット端末を整備する。</p> <p>新 2 運転免許業務自動受付機の導入事業 33,165</p> <p>運転免許更新等の申請者の待ち時間の短縮や手続きの簡素化を図るため、警察署の窓口にて、自動受付機を整備する。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
刑事警察費    国 使 ○	558,989 (583,142)	①② 1 特殊詐欺被害防止情報発信事業 5,724
	30,703	特殊詐欺被害防止の注意喚起を促すため、幅広い世代の県民に対して、訴求力のある視覚的な情報を提供する。
	32,122	② 2 安全安心なサイバー空間構築推進事業 4,490
	496,164	県内の児童生徒や事業者に対して、サイバーセキュリティに関する知識の普及と定着を図り、安全安心なサイバー空間を構築する。
		①② 3 青少年の非行・被害防止対策事業 1,331  青少年を取り巻く課題をテーマにした動画広告を配信し、青少年の非行防止や被害防止対策を推進する。
		4 県民を特殊詐欺から守る安全安心コール事業 1,795  高齢化社会や犯行ツールの高度化等、県民が被害に遭う環境が一段と増す中、ICTを活用して、効果的・効率的な対策を推進し、特殊詐欺被害の防止を図る。
		5 地域見守りカメラ設置促進事業 1,650  自主防犯団体の構成員が減少傾向にあり防犯活動の低迷が懸念されることから、防犯カメラを無償貸し付けすることにより、防犯活動への補填効果および行政機関への設置促進の仕組みづくりを促すため、カメラの購入を行う。

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
交通指導取締費	1,794,630 (1,832,282)	<p>重1 高齢運転者交通事故防止対策事業 770</p> <p>運転技能自動評価システム（オブジェ）の高度化を図り、高齢ドライバーの特性を分析し、交通事故防止を図る。</p>
	国 255,694	
	使 244,943	<p>重2 新たなニーズに対応する交通安全教育事業 960</p> <p>効果的な交通安全教育を実施していくために、交通安全啓発動画を作成し、広く県民に訴える交通安全情報を提供する。</p>
	諸 79,422	
	起 273,900	<p>3 高齢者交通安全対策事業 1,100</p> <p>高齢者の交通事故発生が予測される地域を「思いやりゾーン」として設定し、総合的な交通事故防止対策を展開する。</p> <p>4 補助交通安全施設整備費 526,373</p> <p>(1) 交通管制センターの整備 128,838</p> <p>交通の安全と円滑化を推進するため、集中制御機や情報収集装置の更新等を行う。</p> <p>(2) 交通信号機の整備 109,357</p> <p>交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者用付加装置の設置等の信号機改良整備を行う。</p> <p>(3) ゾーン・通学路対策事業 175,338</p> <p>生活道路における歩行者等の安全対策として、区域内の最高速度を30kmに規制する「ゾーン30」を実施するとともに、通学路や未就学児等が利用する道路においては、横断歩道等の整備を中心とした道路標識標示の整備を行う。</p>
⊖ 940,671		

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>(4) 円滑化対策事業 56,956</p> <p>交通の円滑を図るため、信号機の新設及び改良を行う。</p>
		<p>5 単独交通安全施設整備事業 265,043</p>
		<p>(1) 交通信号機の整備 106,186</p> <p>信号機の移設や信号灯器の改良整備等を行う。</p>
		<p>(2) 道路標識・標示の整備 158,857</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び更新を行う。</p>